作成日　2007/7/23　　改訂日　2024/06/01

安全データシート(SDS)

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称:AC下地調整材W用トナー（赤サビ）
種類:塗料用着色材

製造会社
会社名:AGCコーテック株式会社
住所:〒101-0054　東京都千代田区神田錦町2丁目9番地
担当部門:CSR室　江澤　孝行
電話番号:03-5217-5104
FAX番号:03-5280-0028
緊急連絡電話番号:03-5217-5104
整理番号:2028370310811
使用上の制限:推奨用途以外の用途へ使用する場合は化学物質専門家の判断を仰ぐこと
用途:建築用、その他

---

2. 危険有害性の要約

GHS分類:
物理化学的危険性:
健康に対する有害性:

皮膚感作性	:区分1A
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	:区分1(呼吸器系)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	:区分1(呼吸器系)

環境に対する有害性:

水生環境有害性　短期(急性)	:区分3

GHSラベル要素:
絵表示シンボル:

注意喚起語:危険
危険有害性情報:
- アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
- 臓器(呼吸器系)の障害
- 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器(呼吸器系)の障害
- 水生生物に有害

注意書き:
安全対策:
- 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
- 取扱い後は手をよく洗うこと。
- この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
- 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- 環境への放出を避けること。
- 保護手袋/ 保護衣/ 保護眼鏡/ 保護面を着用すること。

応急措置:
- 皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹸で洗うこと。
- 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診断/ 手当てを受けること。
- 気分が悪いときは医師に連絡すること。
- 気分が悪いときは、医師の診察 / 手当てを受けること。

・特別な処置が必要である。
・皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合: 医師の診察/ 手当てを受けること。
・汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

保管:
・換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
・施錠して保管すること。

廃棄:
・内容物/容器を承認を受けている廃棄物処理施設に廃棄すること。

---

3. 組成及び成分情報

化学物質／混合物の区分:混合物
化学名または一般名:情報なし
化学特性(化学式等):情報なし
毒物及び劇物取締法:該当せず
成分:

成分名	CAS.№	含有量(%)	安衛法 通知物質	毒劇法	PRTR法
酸化鉄	1309-37-1	50.0～60.0	○	-	-
硫酸バリウム	7727-43-7	20.0～30.0	R7	-	-
水	7732-18-5	10.0～20.0	-	-	-
界面活性剤	非公開	5.0～10.0	-	-	-
樹脂	非公開	1.0～3.0	-	-	-
2 －メチル－4 －イソチアゾリン－3 －オン	2682-20-4	0.1～1.0	-	-	-

補足説明:
・成分情報／安衛法通知物質(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)にて記載されている記号の内容は以下の通りとなります。
○: 既存
R7: R7年4月1日以降(施行予定)
R8: R8年4月1日以降(施行予定)

営業上の秘密に該当する物質については範囲での表示をしております。

---

4. 応急措置

吸入した場合:
・新鮮な空気のある場所に移動する。
・症状が出た場合には、直ちに医師の手当てをうけること

皮膚に付着した場合:
・汚染された衣類および靴を脱ぐこ と
・付着物をできる限り拭き取る
・直ちに石鹸と多量の水で洗うこと
・症状が出た場合には、直ちに医師の手当てをうけること

眼に入った場合:
・直ちに、最低15分間はまぶたの内側も含め、多量の水でゆすぐ。
・速やかに医療機関で診察を受ける。

飲み込んだ場合:
・速やかに医療機関で診察を受ける。

---

5. 火災時の措置

適切な消火剤:霧状の水 炭酸ガス(CO2) 泡 乾燥粉末 乾燥砂
使ってはならない消火剤:棒状の水
特有の危険有害性: 10項安定性及び反応性 (危険有害な分解生成物)参照
特有の消火方法
・発火の恐れがある可燃性物質(木、紙、油、衣服など)を火災現場付近から速やかに取り除く。
・高温にさらされる密閉容器は霧状の水をかけて冷却する。

消火を行う 者の保護
- 保護具を使用する。
- 区域から退避させ、安全な距離から消火を行うこと

---

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:

非救急隊員向け　:作業の際には、適切な保護具を着用する。

救急隊員向け　:人員を安全な区域に避難させること

環境に対する注意事項:
- 大量の液体流出物を回収するために堤防を築くこと
- 排水路、下水溝、排水溝、水路に入らないようにすること

封じ込め及び浄化の方法／機材:

回収・中和　:回収して廃棄すること

---

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い:

技術的対策:
- 十分換気されているか確認すること
- 皮膚、眼又は衣類との接触を避けること
- 保護具を使用する。
- アレルギー性反応を起こすおそれ

安全取扱注意事項:
- 休憩前や製品取扱い直後には手を洗う。
- この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと

衛生対策:
- 産業衛生および安全に関する基準に基づいて取り扱う。

保管:

技術的対策／保管条件:
- 直射日光から保護すること
- 容器を密閉し、乾燥した換気の良い場所に保管する。

---

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度／許容濃度:

化学物質名	産衛学会 ppm	産衛学会 mg/m^3
酸化鉄		吸入性粉塵　1
		総粉塵　4

化学物質名	ACGIH_TWA ppm	ACGIH_TWA mg/m^3
酸化鉄		5
硫酸バリウム		5

生物学的職業性ばく露限界値
- 情報なし

設備対策:
- 十分換気されているか確認すること

保護具:

呼吸用保護具:
- 換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する

手の保護具:
- 化学物質耐性の手袋(ゴム、ラテックス、ネオプレンなど)

眼及び／又は顔面の保護具
- ゴーグル型の保護メガネ

皮膚及び身体の保護具:
- 長袖の衣類 耐薬品エプロン 静電防止靴

---

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	： 液体
色	： 茶色
臭い	： 微臭
融点／凝固点	： 情報を有していない
沸点又は初留点及び沸騰範囲	： 情報を有していない
可燃性	： 情報を有していない
爆発下限界および爆発上限界／可燃限界	： 情報を有していない
引火点	： 引火せず
自然発火点	： 情報を有していない
分解温度	： 情報を有していない
pH	： 8
動粘性率	： 情報を有していない
溶解度	
水	： 可溶
n-オクタノール／水分配係数	： 情報を有していない
蒸気圧	： 情報を有していない
密度及び／又は相対密度	： 2.39（20℃）
相対ガス密度	： 情報を有していない
粒子特性	： 情報を有していない

---

10. 安定性及び反応性

反応性:

・ 化学的安定性」を参照。

化学的安定性:

・ 常温、常圧で安定。

危険有害反応可能性:

特記すべき反応性なし

避けるべき条件:

・ 高温及び凍結

混触危険物質:

情報なし

危険有害な分解生成分:

燃焼等によりCO,NOx等の有害ガスを発生する恐れがある。

---

11. 有害性情報

急性毒性:

2 －メチル－4 －イソチアゾリン－3 －オン

LD50	（経口）	ラット	232～249 mg/kg
LD50	（経口）	ラット	=120 mg/kg
LC50	（吸入）	ラット	=0.11 mg/L(4h)

分類できない

皮膚腐食性／刺激性:

分類できない

眼に対する重篤な損傷／眼刺激性:

分類できない

呼吸器感作性:

分類できない

皮膚感作性:

皮膚接触により感作を引き起こすことがある

変異原性（生殖細胞変異原性）:

分類できない

発がん性:

分類できない

生殖毒性:

分類できない
特定標的臓器毒性（単回ばく露）:
臓器の障害
特定標的臓器毒性（反復ばく露）:
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害
誤えん有害性:
分類できない

---

12. 環境影響情報

残留性／分解性:
データなし
生態蓄積性:
データなし
土壌中の移動性:
データなし
オゾン層への有害性:
データ不測のため分類できない
生態毒性:
水生環境有害性 短期（急性）:
水生生物に有害
水生環境有害性 長期（慢性）:
分類できない

---

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物
・ 使い切ってから廃棄する。
・ 国や地方の規制に従って廃棄する。
汚染容器および包装:
・ 空の容器は、法律に従いリサイクルまたは廃棄する。

---

14. 輸送上の注意

特別の安全対策:
・ 物質輸送時には容器を安定な場所に置き固定する。
陸上輸送:
・ 関連法規の規定に従う。
海上規制情報:
・ 該当しない
航空規制情報:
・ 該当しない
応急措置指針番号:なし

---

15. 適用法令

労働安全衛生法
・ 57条名称表示対象物質
・ 57条の2通知対象物質

---

16. その他の情報

引用文献:
・ NITE（日本 独立行政法人 製品評価技術基盤機構）
・ 規則(E C)No. 1272/2008[CLP]による分類
・ 日本産業衛生学会
・ ACG IH(Am erican Conference of G overnm ental Industrial Hyg ienists: 米国産業衛生専門家会議)

・IAR C (International Ag ency for R esearch on Cancer: 国際癌研究機関)

その他

・このSDSは、当社の製品を適正にご使用戴くために必要で、注意しなければならない事項を簡潔にまとめたので、通常の取扱いを対象としたものです。
・記載内容は、現時点で入手した資料、情報データに基づき作成しておりますが、危険、有害性に関する評価は、必ずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意してください。
・このSDSは、法令の改正、新しい知見により、予告なく改訂することがあります。
・このSDSは、国の規制を含む（社）日本塗料工業会の基準に基づくものでありますが、地方自治体の規制情報は含まれていませので、当該自治体の規制に従って対処してください。
・危険有害成分の濃度（%）表示の幅記載は「以上～未満」をい示しています。
・PRTR該当物質については、1，2種は1%以上、特定1種0．1%以上の場合に対象となります。
・PRTR2種については、国（事業所管轄大臣）への報告は不要です。
・2項危険有害性の要約のGHS分類で区分の記載がない危険有害性項目については
「区分に該当しない」又は「分類できない」に該当します。